

企画展示

対極の美

# 白と黒が おりなす世界

Black and White —Beauty of Two Contrasting Colors—



2015年  
6月13日(土)  
↓  
7月26日(日)

開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時半まで)  
休館日／月曜日(但し、7月20日(月)は開館、翌21日(火)は休館)

観覧料／

一般1,200円 高・大生700円 小・中生500円

※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引

※毎週土曜日、小中高生入館無料

主催／徳川美術館・日本経済新聞社

協力／名古屋市交通局

### ■関連イベント

#### ●ギャラリートーク

担当学芸員が展示解説します。(約30分)

2015年6月26日(金)・7月5日(日)

・午前11時30分～・午後2時30分～

### 蓬左文庫

6月10日(水)～7月26日(日)

展示室1 異国への窓—阿蘭陀・波斯・印度—

展示室2 殿様が愛した鳥たち

## 徳川美術館

TEL (052) 935-6262

ホームページ <http://www.tokugawa-art-museum.jp/>

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017



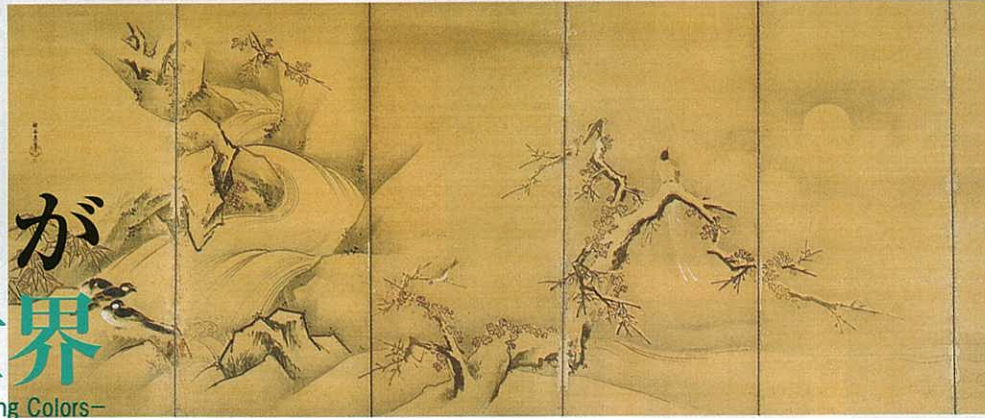


企画展示

対極の美

# 白と黒が おりなす世界

Black and White —Beauty of Two Contrasting Colors—



四季花鳥図屏風 狩野探幽筆 六曲一双の内(部分)

白と黒は、すべての色彩の極限にある色です。対極をなす一方で、その濃淡により無限の階調が生み出され、最も単純でありながら、二つの色が織りなす世界は実に美しく豊かです。日本では、白は清浄・長寿を象徴し、冠婚葬祭の場を彩りました。黒は日本画に不可欠な黒の色であり、深く艶やかな黒が好まれた工芸では、発色に工夫が重ねられてきました。白と黒、拮抗し互いに響き合う美の世界と色の秘密を、絵画や陶磁・漆工・金工など多彩な切り口で探ります。



白羽二重産衣  
徳川綱誠(尾張家3代)誕生服



時代不同歌合絵 伊勢・清輔 伝冷泉為之筆



白天目 徳川將軍家伝来 大名物



能面 黒式尉  
伝越智吉舟作



能面 白式尉



石首魚石入蠟色塗刀拵・脇差拵  
徳川慶勝(尾張家14代)所持



牡丹文堆黒盆

## ■主な展示作品

- ・織部筒茶碗 銘 冬結(重要文化財)
- ・竹の子文志野筒茶碗 歌銘 玉川
- ・雲龍・雪梅・風竹図 三幅対 狩野山雪筆
- ・白描源氏物語色紙画帖
- ・朗詠屏風 近衛信尹筆 六曲一双の内
- ・銀溜白糸威具足 徳川義直(尾張家初代)所用
- ・雲龍文螺鈿琵琶

会期中展示替えあります。



## 次回予告

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念夏季特別展

没後400年 **徳川家康** 一天下人の遺産

平成27年8月1日(土)~9月13日(日)

徳川家康没後400年を記念し、尾張徳川家に伝来した家康の遺産「駿府御分物」「駿府御讓本」を通して、家康の生涯をたどります。

